

○ 重点事業について

重点事業合計	《3カ年合計》			
	推計事業費 ①	予定 人員数 ②	推計人件費 (②×単価) ③	推計総事業費 ①+③
	39,808.2	476.5人	3,764.4	43,572.6

※人件費単価は、平成29年度予算編成における職員1人当たりの単価(7.9百万円)としています。

1. 安全・安心なまち

- 東日本大震災以降の防災意識の高まりを風化させることなく、ソフト・ハード両面からの津波避難対策、地震対策を推進します。
 - 津波避難経路が発災時にその役割を果たすことができるよう、津波浸水想定区域内の津波避難経路にあるブロック塀の撤去及び改修（緑化を含む）に集中的に取り組みます（ブロック塀の撤去及び改修（緑化を含む）にかかる補助制度を充実し、発災時の津波避難経路の機能確保に努めます）。あわせて、津波避難経路マップを基に、津波避難の避難路面シート等の誘導標識を充実することで、避難経路の安全性を確保し、市民の生命を守ります。
 - 避難行動要支援者支援制度の充実を図り、共助による減災の取組を推進します。
 - 災害時における市民や帰宅困難者の備蓄品の整備を行うとともに、広域避難場所の台帳整備等を行います。
 - 窓口耐震相談の実施、共同住宅の耐震に関するアドバイザーの派遣、木造住宅や共同住宅、避難路沿道建築物の耐震化等に対する補助を行います。
- 救急救命士の高度化教育やAEDの環境整備、消防団資機材等の充実などにより、救命率の向上を図ります。
 - 救急救命士の病院での再教育や救急隊員の研修への参加を通し、救急技術の向上を図るとともに、市民を対象とした普通救命講習を実施します。
 - 市内のコンビニエンスストアへAEDを設置することで、身近な救命体制を整えます。
 - 消防団の車両、資機材、器具置場等の整備を行うとともに、消防団員の安全対策を図るための装備の充実を図り、消防団の防災体制を強化します。
- 市民等利用者の安全を確保するため、公共建築物の耐震化等に引き続き取り組みます。
 - 公共建築物耐震対策の実施方針に沿って、消防団器具置場、鎌倉彫振興事業所などの耐震対策を進めます。また、避難所に指定されている鎌倉武道館、鎌倉芸術館及び第二中学校体育館の天井脱落対策を進めます。
 - 本庁舎整備方針に基づき、市役所本庁舎の再整備に向けた準備を進めることで、次世代に向けた市民生活の拠点であり、かつ、災害時の拠点となる本庁舎をめざします。
 - 公共施設再編計画に基づく事業の推進を図ります。特に、老朽化した市営住宅の建替えに向け、施設の集約化による有効な土地利用の推進、PFI等の民間活力の導入を検討します。
- 市民や観光客が利用するインフラ等の安全性を確保します。
 - 平成27年度に策定した社会基盤施設マネジメント計画に基づき、道路、橋りょう、緑地、公園、汚水幹線、雨水幹線の点検を行い、長寿命化計画を策定することで、インフラの管理を「事後保全型」から「予防保全型」へ移行させます。
 - 引き続き、道路、橋りょう、緑地、公園、汚水幹線、雨水幹線、終末処理施設の整備を行うと

ともに、積年の課題である鎌倉駅東口駅前広場や（仮称）鎌倉高校坂前交差点の改良工事を行うことで、市民や観光客が安心できる交通環境等を整えます。

■ 市民が安全で安心して暮らすことができるまちづくりを推進します。

- がけ崩れや土砂の流出等による災害防止の工事資金助成や急傾斜地崩壊危険区域での防災工事への費用負担により、がけ地対策を促進します。
- 地域見守りや防犯グッズの貸出、自治町内会が設置する防犯カメラの設置費用助成等により、地域防犯力の向上を図ります。

「安全・安心なまち」の実現につながる事業

(百万円)

分野	施策の方針	事業CD	事業名	《3カ年合計》				掲載ページ
				推計事業費 (A)	予定 人員数 (B)	推計人件費 (B)×単価 (C)	推計総事業費 (A)+(C)	
行財政運営		0-2-1-5	公共施設再編事業	1,822.4	12.3人	97.2	1,919.6	25
		0-2-1-6	土木管理運営事務	19.6	9.0人	71.1	90.7	25
		0-2-1-7	設計事務	1,040.9	46.2人	365.0	1,405.9	26
みどり	都市公園等の整備・管理	3-1-2-3	緑地維持管理事業	184.6	6.0人	47.4	232.0	46
		3-1-2-4	公園維持管理事業	1,024.4	6.9人	54.5	1,078.9	47
防災・安全	地震対策・風水害対策の充実	5-1-1-7	避難対策推進事業	154.3	6.0人	47.4	201.7	98
		5-1-1-8	がけ地対策事業	273.1	7.5人	59.3	332.4	99
		5-1-1-9	建築相談事業	194.5	9.0人	71.1	265.6	99
	消防機能の整備・充実	5-1-3-3	救急活動事業	50.9	6.0人	47.4	98.3	103
		5-1-3-4	消防団運営事業	212.0	3.0人	23.7	235.7	103
	防犯活動の充実・強化	5-1-4-2	安全・安心まちづくり推進事業	283.6	7.5人	59.3	342.9	105
総合交通	道路・交通体系の検討	5-3-1-3	鎌倉駅東口駅前広場整備事業	481.8	3.0人	23.7	505.5	111
道路整備	道路・橋りょうの整備・維持管理	5-4-1-3	道路維持補修事業	878.6	7.2人	56.9	935.5	117
		5-4-1-4	道路新設改良事業	1,132.4	5.7人	45.0	1,177.4	118
		5-4-1-5	橋りょう維持補修事業	329.6	6.0人	47.4	377.0	118
住宅・住環境	鎌倉らしい住まいづくり	5-5-1-1	市営住宅集約化事業	177.0	12.0人	94.8	271.8	120
下水道・河川	下水道の整備・管理	5-6-1-5	汚水排水施設整備事業	610.6	16.5人	130.3	740.9	123
		5-6-1-6	持続型下水道幹線再整備事業	211.8	1.8人	14.2	226.0	124
		5-6-1-7	雨水排水施設整備事業	835.1	15.7人	124.0	959.1	124
		5-6-1-8	終末処理施設整備事業	3,097.1	6.0人	47.4	3,144.5	124
	水辺環境の整備・創出・管理	5-6-2-1	河川維持補修事業	421.9	9.1人	71.9	493.8	126
「安全・安心なまち」の実現につながる事業小計				13,436.2	202.4人	1,599.0	15,035.2	

2. 働くまち

■ 商工業の持続的な発展と、活力あるまちの創出を図ります。

- 創業希望者に対する支援、新規に立地する企業に対する支援、既存企業の設備投資に対する支援及び中小企業者の経営革新に対する支援として、市税の軽減や補助を行います。
- 地域消費力の向上、地域経済の活性化をめざし、プレミアム商品券発行事業を支援します。

■ 様々なライフステージ・キャリア等に応じた就職支援や、就労環境の整備を行います。

- 市民の雇用に向けた市内企業のニーズ調査や就職対策セミナー、女性就職応援セミナー、雇用マッチング面接会などを実施することで、雇用や就労の場の拡大をめざします。
- 高度な専門知識、豊富な経験を持つ高齢者が地域で活躍し、充実したセカンドライフを送ることができるよう、「生涯現役促進地域連携鎌倉協議会」と連携して、特に、高齢者を対象とした就労相談窓口の設置、就労啓発セミナー、企業との合同就職説明会等を実施します。

「働くまち」の実現につながる事業

分野	施策の方針	事業CD	事業名	《3カ年合計》 (百万円)				掲載ページ
				推計事業費 (A)	予定 人員数 (B)	推計人件費 (B×単価) (C)	推計総事業費 (A+C)	
健康福祉	地域生活の支援サービス	4-1-1-4	高齢者雇用促進事業	60.0	0.3人	2.4	62.4	64
産業振興	商工業振興の充実	6-1-2-1	商工業振興事業	250.9	4.8人	37.9	288.8	131
勤労者福祉	雇用支援の充実	6-3-1-1	労働環境対策事業	22.8	3.0人	23.7	46.5	138
「働くまち」の実現につながる事業小計				333.7	8.1人	64.0	397.7	

3. 子どもが育つまち

■ 保育所及び子どもの家（学童保育）の待機児童の解消に取り組めます。

- 保育所だけでなく、子育て支援センター及び障害児放課後余暇支援施設との複合施設となる（仮称）由比ガ浜こどもセンターを開設します。
- 駅近（鎌倉駅）の利便性の高い場所における新園施設整備（御成町在宅福祉サービスセンター及び横浜地方法務局鎌倉出張所跡地を活用した民間園）への支援を行うことで、子育ての負担軽減をめざします。
- 西鎌倉子どもの家、岩瀬（今泉）子どもの家、深沢子どもの家、関谷子どもの家を学校敷地内に整備するとともに、御成子ども会館・子どもの家の改修工事を行うことで、子どもの健全な遊び場や学童保育の環境を整えます。
- 全ての就学児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことを目的として、放課後子ども総合プランの全校実施をめざします（計画期間中は9校）。

■ 出産・子育ての不安や負担を軽減し、希望出生率（1.74）の達成をめざします。

- 現在、実施している小学生までの入・通院費及び中学生の入院に係る医療費の助成に加え、中学生の通院に係る医療費も助成します（所得制限あり）。
- 第2子に係る幼稚園就園奨励費の増額や、民間保育所及び認定こども園等の保育料の第2子無償化を行うことで、多子世帯の負担軽減を図ります。
- 新たに鎌倉地域において病児保育事業を開始することで、従来の大船地域における病後児保育

事業や一時預かり保育などとともに、多様な保育ニーズに対応します。

■ 児童生徒を取り巻く環境整備を進めます。

- 健全な学習環境の向上に向け、小・中学校全校の冷房設備設置をめざし、小学校 12 校の普通教室へ冷房設備を設置します。
- 教育環境の改善を図るため、小・中学校各 2 校におけるトイレ改修工事を行います。
- 小・中学校全校の特別支援学級教室設置をめざし、深沢小学校、岩瀬中学校での改修工事を行います。
- 中学校全校における給食の提供を開始します。

「子どもが育つまち」の実現につながる事業

(百万円)

分野	施策の方針	事業CD	事業名	《3カ年合計》				掲載 ページ
				推計事業費 ①	予定 人員数 ②	推計人件費 (②×単価) ③	推計総事業費 ①+③	
子育て	すべての子育て家庭 への支援	4-2-1-3	小児医療助成事業	1,649.5	4.0人	31.6	1,681.1	73
		4-2-1-4	特定教育・保育施設支援事業	6,997.8	9.0人	71.1	7,068.9	73
		4-2-1-5	就園支援事業	1,250.3	1.6人	12.6	1,262.9	74
		4-2-1-6	特別保育事業	301.2	4.5人	35.6	336.8	74
		4-2-1-7	放課後子ども総合プラン運営事業	376.0	7.5人	59.3	435.3	75
	子育て支援施設の整備	4-2-2-5	子ども会館・子どもの家整備事業	358.8	9.9人	78.2	437.0	77
		4-2-2-6	私立保育所等整備事業	194.4	4.5人	35.6	230.0	78
		4-2-2-7	公立保育所整備事業	404.9	4.5人	35.6	440.5	78
学校教育	教育内容・教育環境の 充実	4-3-2-2	中学校給食事務	573.7	13.2人	104.2	677.9	84
	学校施設の整備	4-3-3-5	小学校施設整備事業	1,442.5	4.0人	31.6	1,474.1	86
		4-3-3-6	中学校施設整備事業	638.8	2.6人	20.5	659.3	86
「子どもが育つまち」の実現につながる事業小計				14,187.9	65.3人	515.9	14,703.8	

4. 健康に暮らせるまち

■ 教育委員会や学校現場と連携して、発達に課題のある子どもたちが地域の中で健やかに成長し、生活できる場づくりをめざします。

- 特別な支援を必要とする児童等の相談及び早期発見、早期支援を行います。また、発達支援に関する情報共有と支援技術の向上をめざすサポーターを養成します。

■ 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行います。

- 妊産婦健康診査費用の補助拡充、産後ケア事業の創設、思春期向け冊子及び祖父母向け育児支援冊子の作成、配布を行います。
- 不妊・不育に悩む方に対して、特定不妊、不育症治療費を助成します。

■ 救急医療サービスを拡充します。

- 休日夜間急患診療所については、ゴールデンウィーク、年末年始に加え、インフルエンザ等が

流行する時期（12月～2月）の日曜日においても、内科・小児科の二科体制による診療を行い、小児患者への対応を充実します。

- 歯科診療の充実に向け、休日急患歯科診療所を市施設（台在宅福祉サービスセンター内）に移転するとともに、急患患者への対応とあわせて、障害者への歯科診療、高齢者等への在宅訪問歯科診療などを実施します。

■ 市民の健康づくりを支援します。

- 健康づくりに関するアプリや専用サイトを制作し、健康づくりに関するポイント制度を構築することにより、市民が日常生活の中で楽しみながら健康づくりができる仕組みをつくりまします。
- 市内の企業とともに“健康経営”を進めます（市内の企業と協議会を設置し、健康づくりに関する企業の取組を顕彰するとともに、普及啓発、PRに努めます）。
- 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、市民を対象とした各種スポーツ教室、イベント等の開催やスポーツ指導者の育成などを行います。

「健康に暮らせるまち」の実現につながる事業

（百万円）

				《3カ年合計》				掲載 ページ
分野	施策の方針	事業CD	事業名	推計事業費 ①	予定 人員数 ②	推計人件費 (②×単価) ③	推計総事業費 ①+③	
健康福祉	地域生活の支援サービス	4-1-1-3	発達支援サポートシステム推進事業	1.6	1.2人	9.5	11.1	63
	市民の健康と安心づくりの推進	4-1-2-2	救急医療対策事業	502.7	2.1人	16.6	519.3	68
		4-1-2-3	母子保健事業	531.4	25.8人	203.8	735.2	69
		4-1-2-4	ICT活用健康づくり事業	31.9	6.0人	47.4	79.3	69
スポーツ・レクリエーション	市民スポーツ・レクリエーション推進	4-6-1-1	各種スポーツ行事事業	42.5	6.0人	47.4	89.9	94
「健康に暮らせるまち」の実現につながる事業小計				1,110.1	41.1人	324.7	1,434.8	

5. その他重点的に推進すべき事業

■ 行財政改革を推進します。

- 業務総量の把握や事務執行上の課題分析を行うとともに、各種証明のコンビニ交付を開始するなど、効率的・効果的な業務体制の確立や選択と集中によるサービスの見直しを図ります。

■ 鎌倉市の魅力に磨きをかけます。

- 世界遺産登録に結びつくコンセプトの再構築、再推薦に向けた準備や市民意識の啓発、歴史的風致維持向上計画を推進するとともに、史跡の公有地化や史跡大町釈迦堂口、仮粧坂、和賀江嶋の整備を行うことにより、本市のまちづくりの土台となる歴史環境を保存し、活用していきます。
- 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、多言語対応パンフレットやホームページの構築、外国語ガイドの活動支援、公衆トイレのユニバーサルデザイン化、観光案内板の多言語表示などを進めるとともに、鎌倉駅西口駅前時計台広場の整備を行うことで、日本人観光客だけでなく、外国人観光客も快適に鎌倉を観光できる環境を整えます。
- 文化活動の拠点である鎌倉芸術館の修繕を実施することで、本市の文化を発信する環境を整えます。

- 観光客増加に伴い、これまで以上に発生が予想される交通渋滞の抑制に向け、交通シミュレーションを実施するとともに、交通渋滞の抑制に繋がる新たな施策の検討を行います。

■ 深沢地域の整備を進めます。

- 本市の第三の拠点となる深沢地域における土地区画整理事業着手に向けた準備を進めることで、新たなまちづくりの構築、本市の課題解決に繋がります。

■ ごみ処理施策を推進します。

- ふれあい収集の拡大も含めた収集活動の継続や製品プラスチック等をはじめとした資源化品目の拡大を実施することで、引き続き、ごみ焼却量の削減をめざします。
- 安定的なごみ焼却体制の構築に向け、新ごみ焼却施設の平成 37 年度稼動に向けた準備を進めます。
- 廃棄物処理施設の再編整備を進めるため、社会基盤施設マネジメント計画（生活環境施設編）に基づく個別施設計画を策定します。

■ 緑地の維持・保全を継続します。

- 本市の魅力である大規模緑地の保全・活用に向け、（仮称）山崎・台峯緑地の開園に向けた用地取得、施設整備を行います。

■ 漁業環境を整備します。

- 鎌倉地域における漁業支援施策として、船揚場、漁具倉庫等の環境整備に向けた準備を進めます。

■ 市民力・地域力の向上を図ります。

- （仮称）市民活動推進条例を制定するとともに、（仮称）市民活動推進指針を策定することで、更なる市民自治の確立をめざします。

その他重点的に推進すべき事業

（百万円）

分野	施策の方針	事業CD	事業名	《3カ年合計》				掲載ページ
				推計事業費 (A)	予定 人員数 (B)	推計人件費 (B)×単価 (C)	推計総事業費 (A)+(C)	
市民自治		0-1-1-4	市民自治推進事業	56.6	15.0人	118.5	175.1	19
行財政運営		0-2-1-8	行財政改革推進事業	132.7	17.8人	140.6	273.3	26
歴史的遺産と共生するまちづくり		0-4-1-3	世界遺産条約登録事業	25.6	7.5人	59.3	84.9	30
		0-4-1-4	歴史的遺産と共生するまちづくり推進事業	1,509.4	1.5人	11.9	1,521.3	31
			※他重点事業重複分(－)	1,162.6			1,162.6	
歴史環境	史跡の指定、保存・管理、整備及び活用	2-1-2-3	史跡買収事業	413.0	1.5人	11.9	424.9	38
		2-1-2-4	史跡環境整備事業	366.6	9.0人	71.1	437.7	38
文化	文化活動の支援・推進	2-2-1-1	鎌倉芸術館管理運営事業	2,215.9	8.4人	66.4	2,282.3	42
みどり	都市公園等の整備・管理	3-1-2-5	公園整備事業	355.8	6.0人	47.4	403.2	47
		3-1-2-6	公園用地取得事業	626.8	9.0人	71.1	697.9	47
生活環境	3Rの推進・ごみの適正処理	3-3-1-5	廃棄物処理施設のマネジメント事業	760.8	8.4人	66.4	827.2	52

(百万円)								掲載 ページ
分野	施策の方針	事業CD	事業名	《3ヵ年合計》				
				推計事業費 ①	予定 人員数 ②	推計人件費 (②×単価) ③	推計総事業費 ①+③	
生活環境	3Rの推進・ごみの適正 処理	3-3-1-6	新焼却施設整備事業	104.7	3.6人	28.4	133.1	52
		3-3-1-7	ごみ収集事業	1,963.5	9.0人	71.1	2,034.6	53
		3-3-1-8	ごみ資源化事業	2,184.0	13.5人	106.6	2,290.6	53
市街地整備	市街地整備の推進	5-2-1-3	古都中心市街地整備事業	83.2	6.9人	54.5	137.7	109
		5-2-1-4	深沢地域整備事業	164.0	23.6人	186.4	350.4	109
総合交通	道路・交通体系の検討	5-3-1-2	交通体系整備事業	209.0	4.2人	33.2	242.2	111
産業振興	農業・漁業の振興	6-1-1-2	鎌倉地域漁港対策事業	395.3	4.5人	35.6	430.9	129
観光	観光都市としての質の 向上	6-2-1-1	観光振興事業	56.2	5.1人	40.2	96.4	133
	安全で快適な観光空間の 整備	6-2-2-3	観光施設整備事業	279.8	5.1人	40.2	320.0	135
その他重点的に推進すべき事業小計				10,740.3	159.6人	1,260.8	12,001.1	